

中学校地区別の公共施設配置図と人口推計 ～中学校地区から見た公共施設の配置状況と人口推計～

■公共施設再配置における地域の考え方

基本計画第3章（P26～31）では、中学校区別の人口ピラミッドと浜松市の公共施設の用途別・利用圏域別区分を参考に、人口構成が異なる地域のあり方（＝地域特性・地域事情）を考慮しながら、公共施設ごとに、町内会単位から中学校区まで、さまざまな地域単位で施設配置を検討していくことになる、という考え方を示しています。

では、現在の公共施設の配置状況はどのようになっているのでしょうか。

そこで、今回の施設別データから、土地データの所在地欄に中学校地区を記載することにしました。そして、そのデータを基に、10の中学校地区を基礎単位とした公共施設の配置図を作成しました。ただし、このことは、すべての公共施設について中学校地区単位で配置を検討するということの意味しているわけではありません。なぜなら、各地域で同じ目的の施設を整備するというフルセット配置からの脱却こそが、再配置の目指すところであり、基本計画でも示しているように、公共施設ごとにさまざまな地域単位で施設の配置を検討していくことにしているからです。

したがって、この配置図は、あくまで現状を把握するという目的のため、将来的には地域の拠点施設機能の集約を検討していくことを想定しています。小・中学校施設が立地している中学校地区を、一つの地域単位として作成したものです。

■中学校地区別の公共施設の数量から分かること

各中学校地区別の公共施設の数量、延床面積、敷地面積を示した（図表2-1）、（図2-2）及び（図2-3）から、次のようなことが分かりました。

- ①公共施設の延床面積（建物）で面積が最も多いのは鶴城中学校地区でした。機能別で見ますと、学校教育機能や福祉機能の面積が多いことが分かります。学校教育機能では愛知県下最大級の児童数を誇る「鶴城中学校」があり、福祉機能では「市民病院」があります。鶴城中学校地区に次いで多かったのは、西尾中学校地区で「市役所本庁舎」や「総合福祉センター」があります。その次は吉良中学校地区、その次は一色中学校地区でした。

- ②公共施設の敷地面積（土地）が最も多いのは東部中学校地区でした。これは、東部中学校地区に広大な敷地面積を誇る「総合体育館」及び「西尾いきものふれあいの里」などの生涯学習機能施設があるからです。東部中学校地区に次いで多かったのは、吉良中学校地区、その次は鶴城中学校地区、その次は一色中学校地区でした。
- ③公共施設の施設数が最も多いのは吉良中学校地区の68でした。次いで多かったのは一色中学校地区の51、その次が鶴城中学校地区の49、その次が西尾中学校地区の46でした。
- ④旧三町の中学校地区については、もともと各町の行政エリア＝中学校地区でしたので、グラフから施設の機能別のバランスが似ており、旧三町がフルセット配置を目指してきた状況が分かります。また、各中学校地区を機能別に見ると、どの地区も学校教育機能と生涯学習機能が多いことが分かります。
- ⑤各中学校地区の公共施設の延床面積を各地区の人口169,844人（平成25年1月25日現在）で割ると、各地区の市民一人あたりの公共施設（再配置対象施設）の延床面積が算定できます。
- 最も多かったのは、吉良中学校地区の3.87㎡/人。これは市全体の市民一人あたりの延床面積3.23㎡/人を0.64㎡超えています。吉良中学校地区に次いで多かったのは、鶴城中学校地区の3.77㎡/人、その次が西尾中学校地区の3.62㎡/人、その次が東部中学校地区の3.55㎡/人で、ここまでが市全体の平均値3.23㎡/人を超えていました。

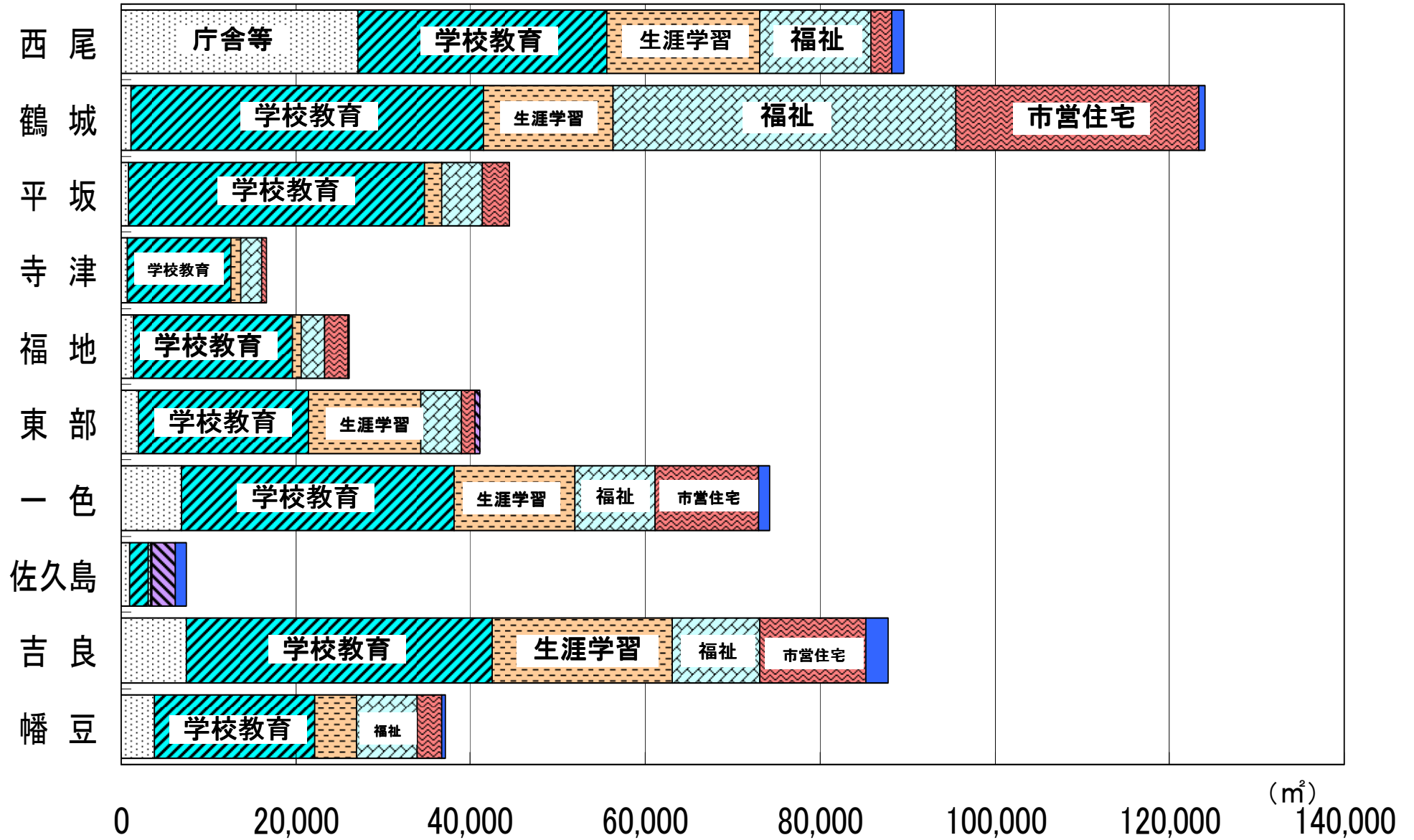
■中学校地区別の公共施設配置図を並べました

P12から、西尾市内の10中学校地区別の公共施設配置図を並べました。この配置図には白書の対象施設であります357施設が掲載されています。配置図には主な道路・鉄道や河川などを描き、公共施設機能の大分類の16種類のアイコンで配置場所を図示していますが、これは、あくまで各施設間の大まかな配置を表したものです。したがって、実際の配置とは多少のずれがありますので、あらかじめご承知ください。

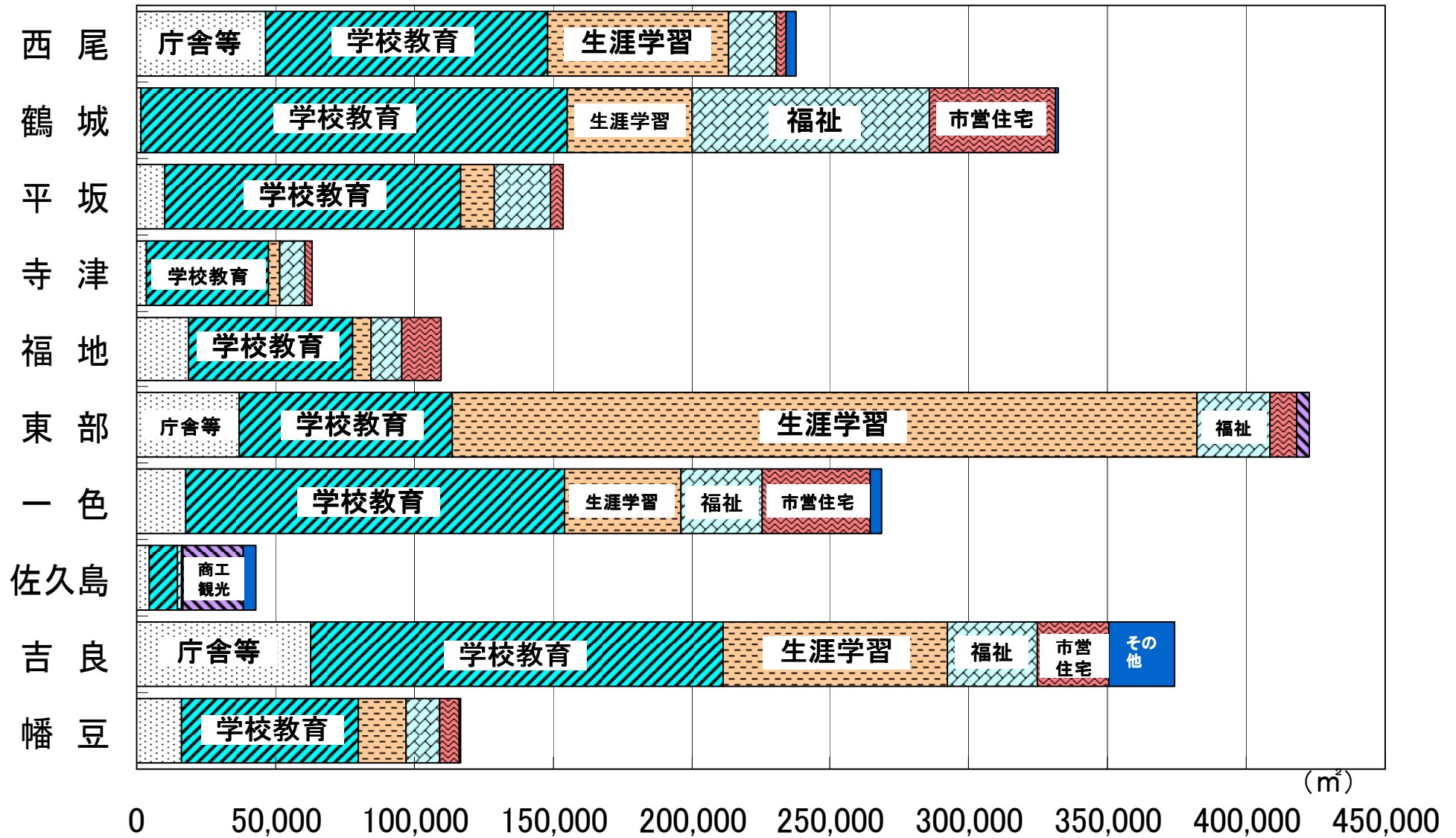
(図表2-1) 中学校地区別の公共施設の数量 (施設数・延床面積・敷地面積)

施設分類	中学校地区名	西尾	鶴城	平坂	寺津	福地	東部	一色	佐久島	吉良	幡豆
庁舎等	施設数	10	14	9	8	7	11	12	7	17	7
	延床面積(m ²)	27,096.89	1,186.02	798.81	723.66	1,378.96	1,967.71	6,847.25	929.22	7,416.09	3,745.21
	敷地面積(m ²)	46,415.93	1,754.03	10,133.92	3,625.05	18,497.96	36,979.49	17,862.85	4,768.39	62,726.72	16,108.97
学校教育施設	施設数	4	7	5	2	3	3	6	2	7	4
	延床面積(m ²)	28,504.00	40,341.49	33,896.24	11,904.00	18,299.00	19,498.00	31,247.00	2,196.00	35,127.20	18,480.12
	敷地面積(m ²)	101,526.47	153,655.23	106,908.24	43,688.51	59,553.18	76,779.00	136,115.79	10,004.91	148,443.79	63,543.21
生涯学習施設	施設数	6	7	1	1	1	4	5	0	11	6
	延床面積(m ²)	17,540.61	14,830.28	1,955.35	1,067.13	895.24	12,760.80	13,861.82	0.00	20,585.01	4,764.13
	敷地面積(m ²)	65,424.81	44,610.29	11,972.72	4,383.05	6,146.49	268,654.81	42,091.00	0.00	81,009.44	17,592.94
福祉施設	施設数	19	15	8	6	6	7	15	2	20	13
	延床面積(m ²)	12,714.05	39,205.32	4,705.56	2,359.89	2,701.67	4,679.84	9,110.93	272.92	9,981.61	6,865.05
	敷地面積(m ²)	17,186.97	85,776.40	20,228.53	9,116.10	11,134.13	26,329.40	29,629.56	1,454.79	32,216.54	12,209.20
市営住宅	施設数	1	4	1	1	2	2	8	1	9	3
	延床面積(m ²)	2,313.61	27,817.61	3,109.93	590.71	2,730.11	1,666.48	11,888.22	114.00	12,149.93	2,797.84
	敷地面積(m ²)	3,597.39	45,207.03	4,387.70	2,345.33	14,273.52	9,249.11	38,974.98	257.85	26,230.42	6,694.11
商工観光施設	施設数	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0
	延床面積(m ²)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	469.75	0.00	2,698.73	0.00	0.00
	敷地面積(m ²)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,561.01	0.00	21,860.19	0.00	0.00
その他	施設数	6	2	0	0	1	0	5	2	3	3
	延床面積(m ²)	1,489.34	632.00	0.00	0.00	100.00	0.00	1,270.19	1,311.64	2,481.86	439.30
	敷地面積(m ²)	3,393.52	1,007.81	0.00	0.00	271.00	0.00	3,734.45	4,876.77	23,633.14	457.20
合計	施設数	46	49	24	18	20	28	51	18	67	36
	延床面積(m ²)	89,659	124,013	44,466	16,645	26,105	41,043	74,225	7,523	87,742	37,092
	敷地面積(m ²)	237,545	332,011	153,631	63,158	109,876	422,553	268,409	43,223	374,260	116,606

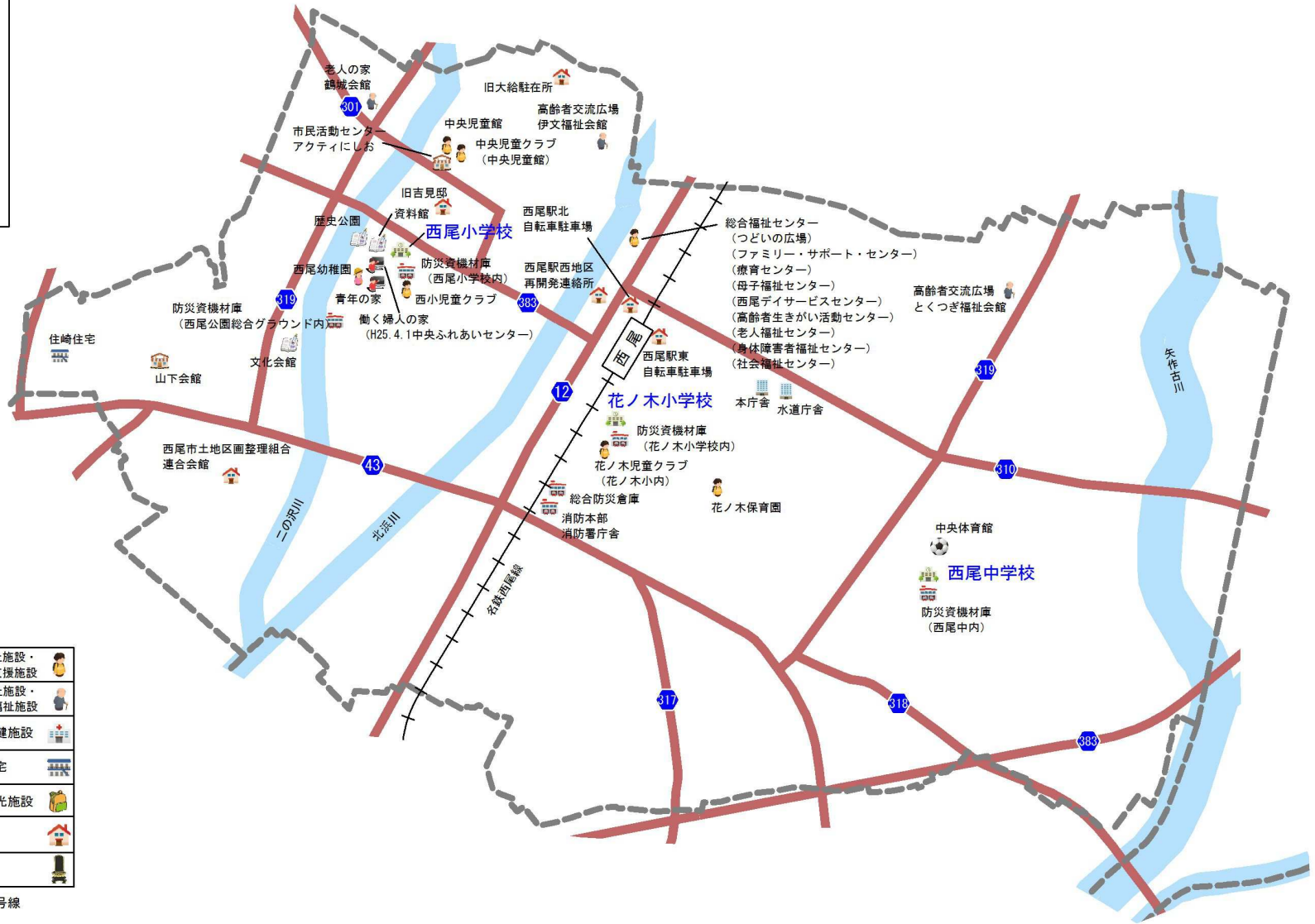
(図表 2-2) 中学校地区別の公共施設の延床面積 (建物)



(図表 2-3) 中学校地区別の公共施設の敷地面積 (土地)



西尾中学校地区の公共施設配置図

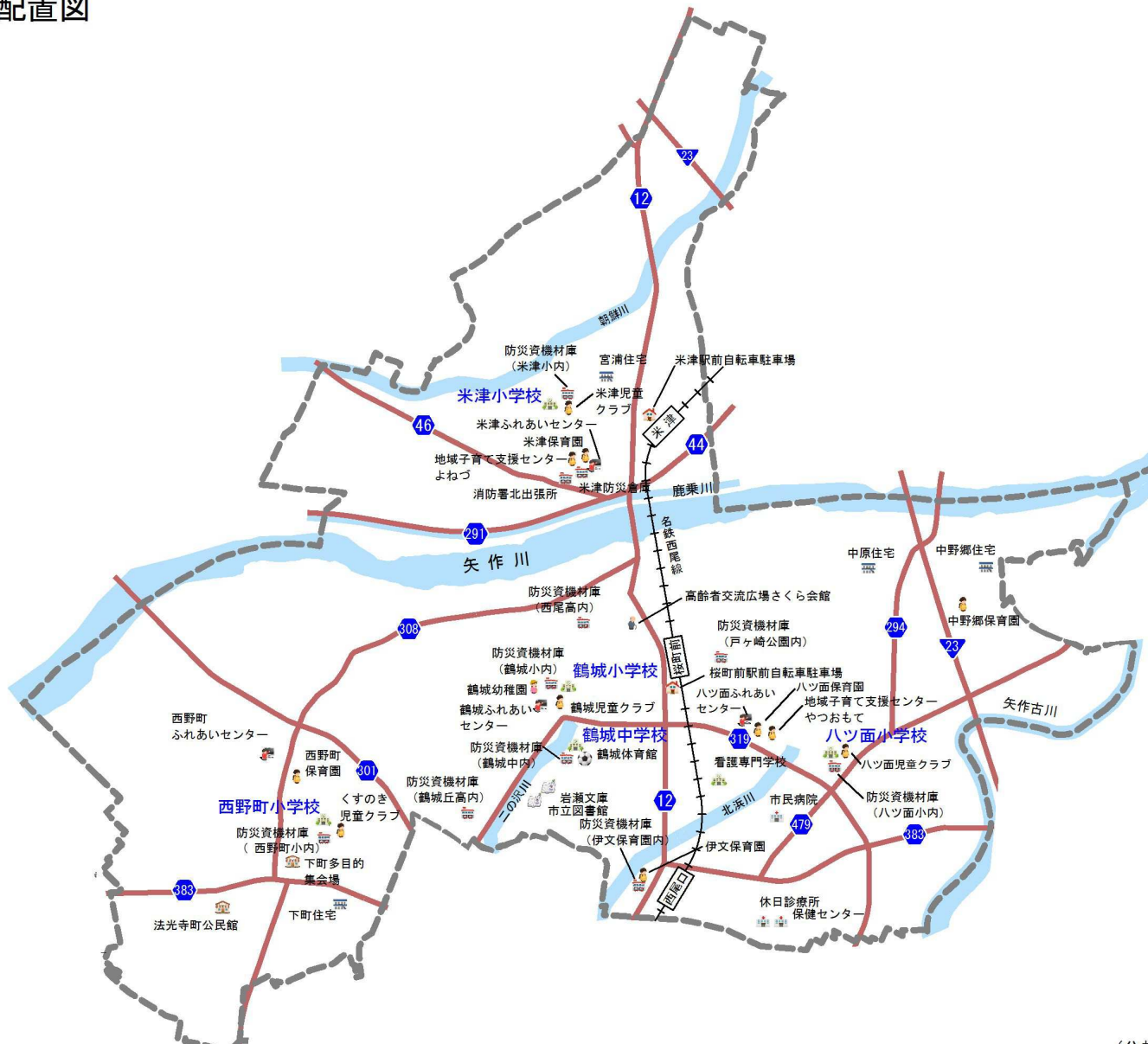
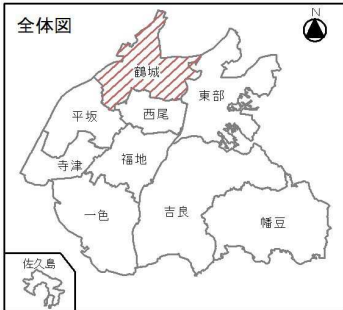


凡 例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯学習施設	社会教育施設	斎場	斎場
	文化施設	国道○号線	国道○号線
	スポーツ・レクリエーション施設	県道○号線	県道○号線

(公共施設経営室 H24調査)

鶴城中学校地区の公共施設配置図

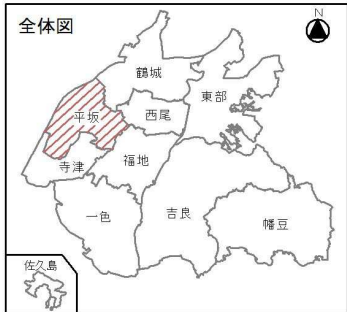


凡 例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設	福祉施設	社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校 教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯 学習施設	社会教育施設	斎場	斎場
	文化施設	国道〇号線	国道〇号線
	スポーツ・レクリエーション施設	県道〇号線	県道〇号線

(公共施設経営室 H24調査)

平坂中学校地区の公共施設配置図

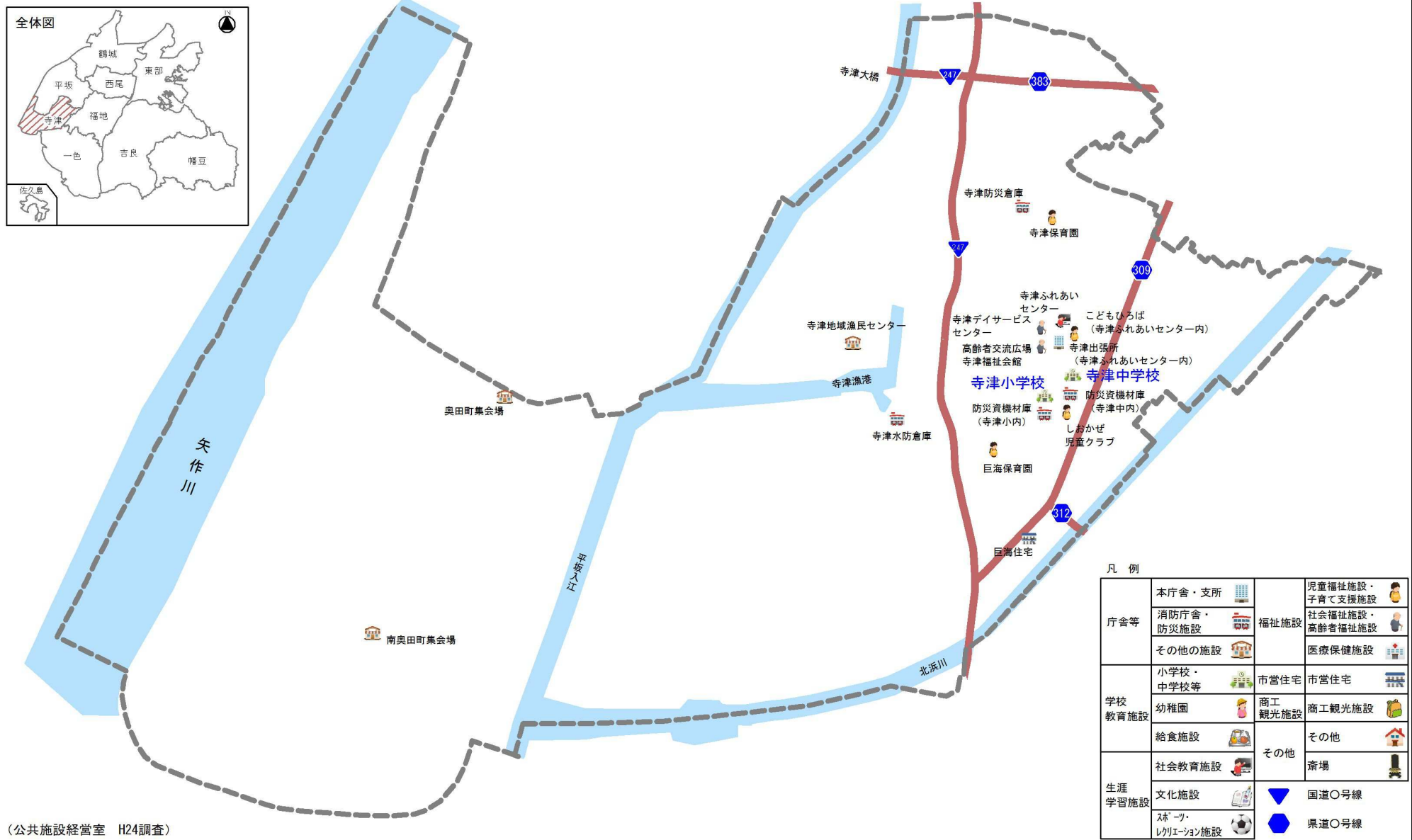
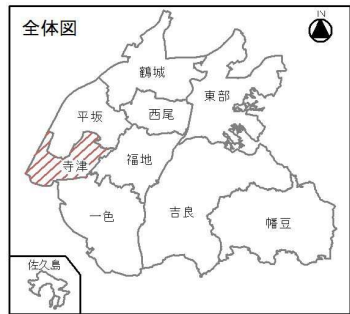


凡 例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設	◆	国道○号線
	スポーツ・レクリエーション施設	●	県道○号線

(公共施設経営室 H24調査)

寺津中学校地区の公共施設配置図

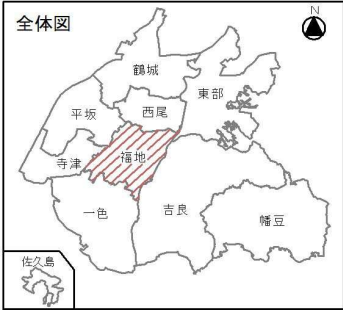


凡例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校 教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯 学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設	▼	国道○号線
	スポーツ・レクリエーション施設	●	県道○号線

(公共施設経営室 H24調査)

福地中学校地区の公共施設配置図

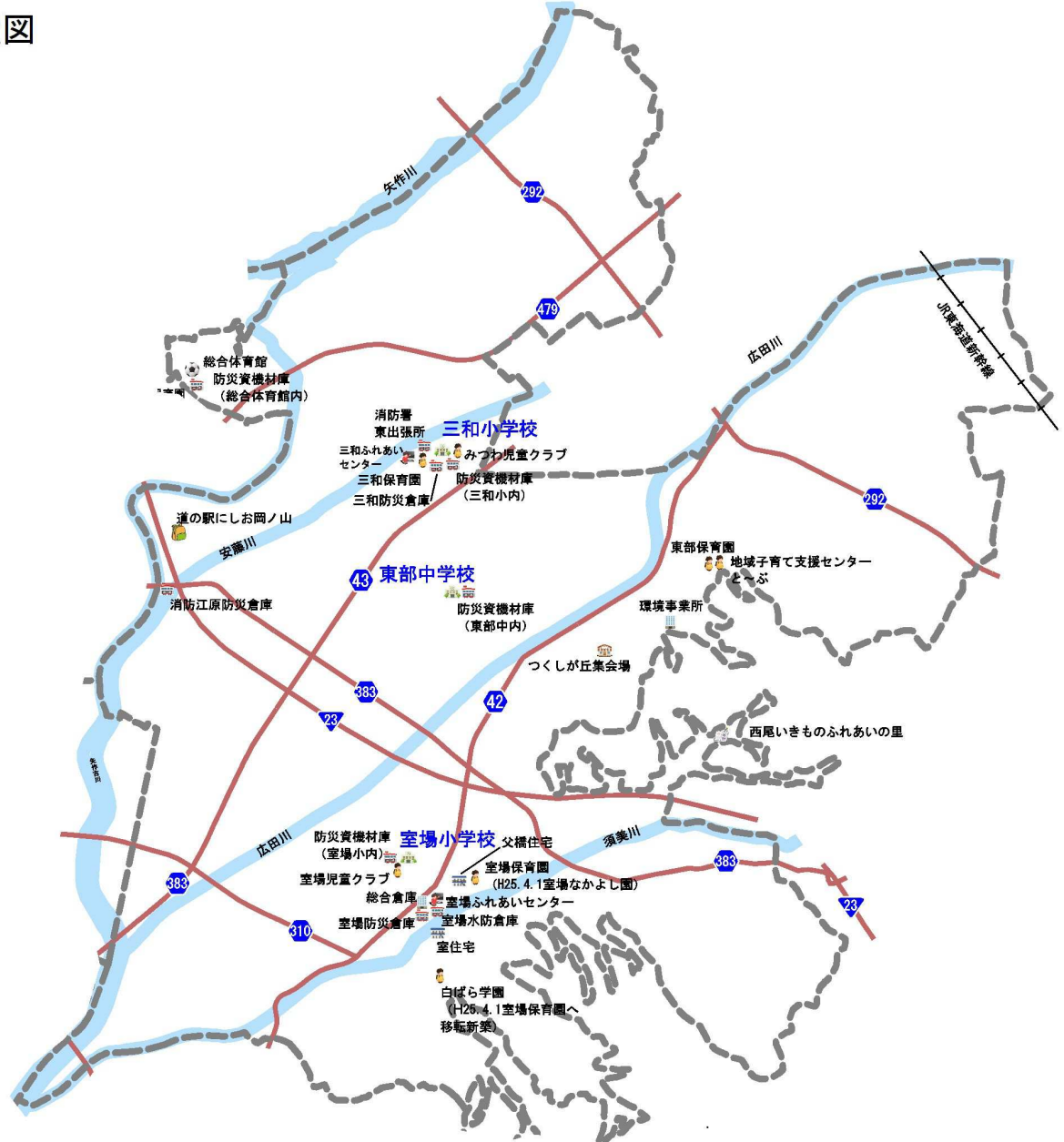
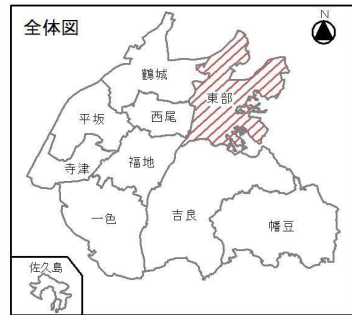


凡例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設	▼	国道○号線
	スポーツ・レクリエーション施設	●	県道○号線

(公共施設経営室 H24調査)

東部中学校地区の公共施設配置図

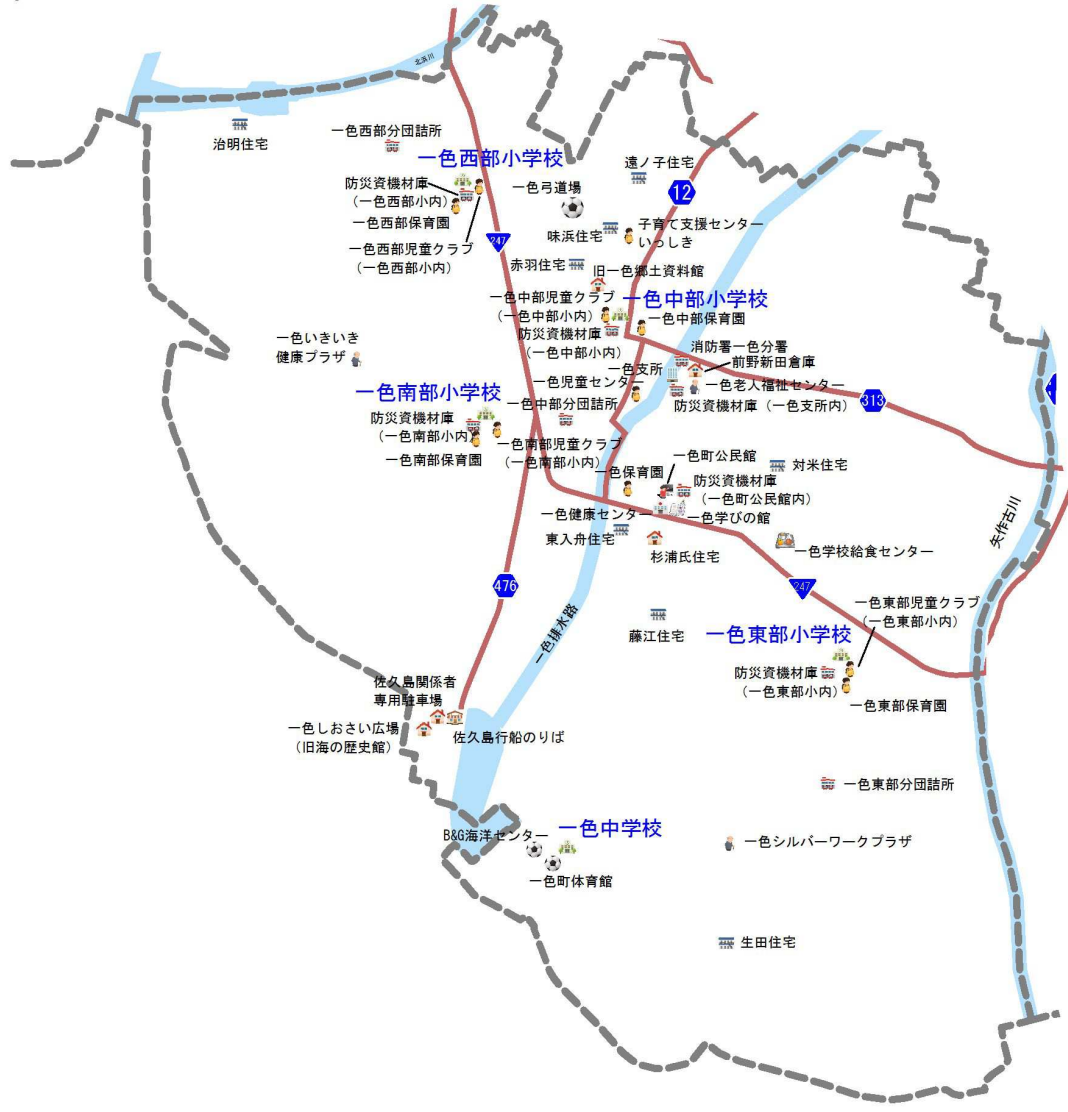


凡例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園		商工観光施設
	給食施設		その他
生涯学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設		▼ 国道○号線 ● 県道○号線
	スポーツ・レクリエーション施設		

(公共施設経営室 H24調査)

一色中学校地区の公共施設配置図

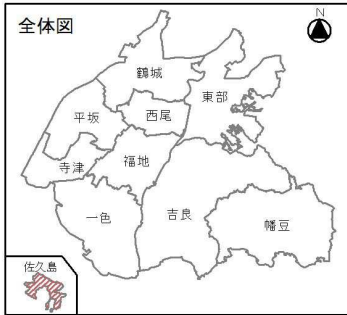


凡 例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校 教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯 学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設	▼ 国道○号線	
	ｽﾎｰｸ・レクリエーション施設	● 県道○号線	

(公共施設経営室 H24調査)

佐久島中学校地区の公共施設配置図

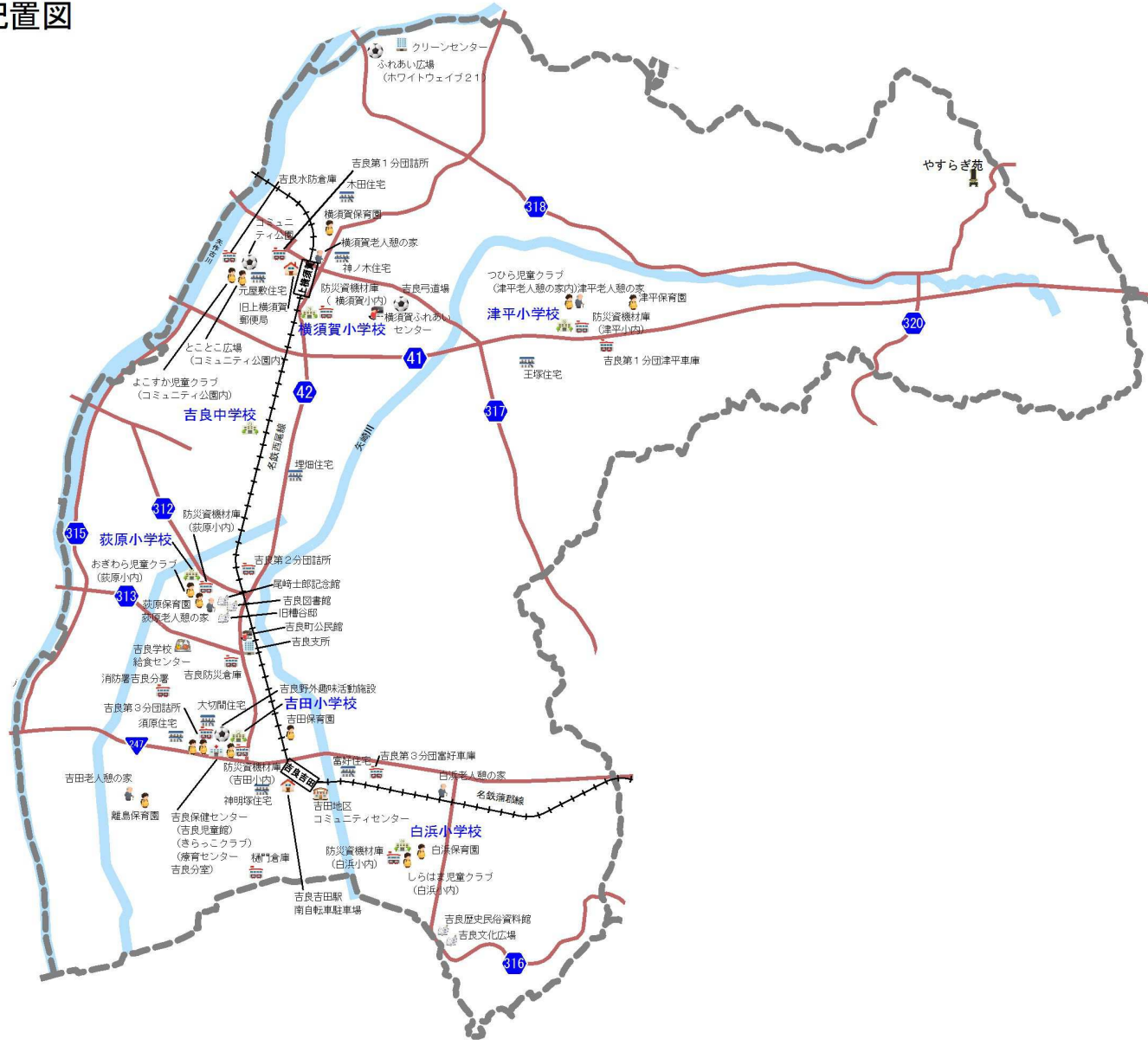
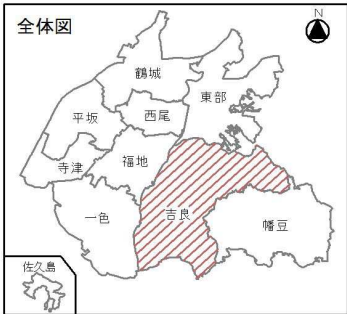


凡 例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校 教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯 学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設	▼	国道〇号線
	スポーツ・レクリエーション施設	●	県道〇号線

(公共施設経営室 H24調査)

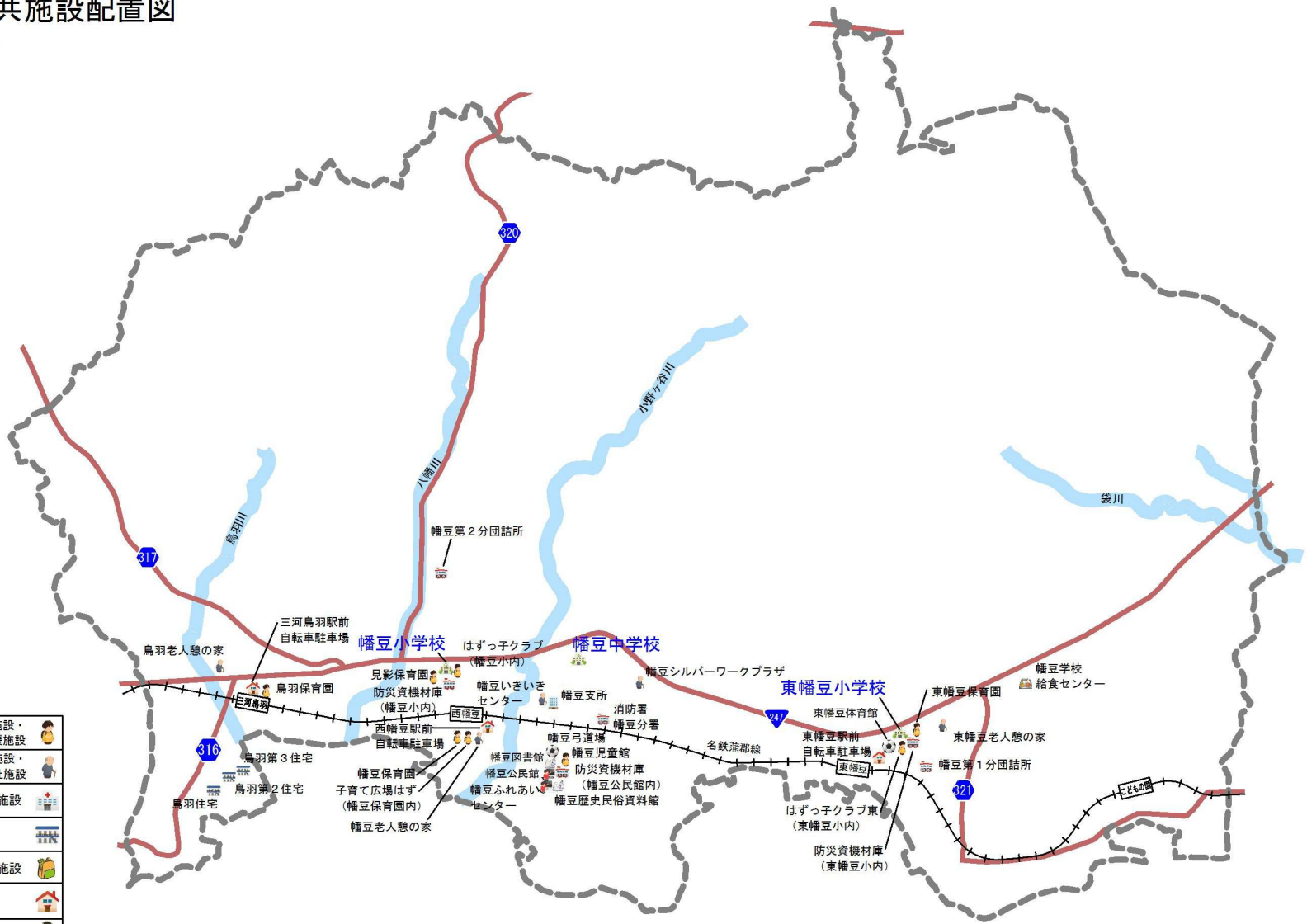
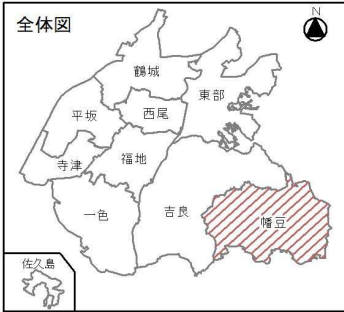
吉良中学校地区の公共施設配置図



凡 例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設		社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設		医療保健施設
学校 教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯 学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設	▼ 国道〇号線	
	スポーツ・レクリエーション施設	● 県道〇号線	

幡豆中学校地区の公共施設配置図



凡 例

庁舎等	本庁舎・支所	福祉施設	児童福祉施設・子育て支援施設
	消防庁舎・防災施設	福祉施設	社会福祉施設・高齢者福祉施設
	その他の施設	福祉施設	医療保健施設
学校 教育施設	小学校・中学校等	市営住宅	市営住宅
	幼稚園	商工 観光施設	商工観光施設
	給食施設	その他	その他
生涯 学習施設	社会教育施設	その他	斎場
	文化施設	国道○号線	
	スポーツ・レクリエーション施設	県道○号線	

(公共施設経営室 H24調査)

■中学校地区別の人口推計

基本計画第3章（P24）では、西尾市の将来人口推計と年代別人口推移のグラフを掲載し、平成27年あたりから西尾市の総人口はゆるやかに減少していくことと、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）の減少と老年人口（65歳以上）の増加の影響について言及しています。

また、基本計画第3章（P27～29）では、平成23年12月1日現在の中学校区別の人口ピラミッドを掲載し、各地域における年代別人口が異なっていることを図示しました。

そこで、今回は公共施設の長寿命化の目標耐用年数として検討中の80年を視点に2092年までの中学校地区別の将来人口推計を行ないました。先述したとおり、すべての公共施設を中学校地区単位で再配置していきませんが、この人口推計は将来の地域特性や地域事情を想定する指標の一つとして活用していきたいと考えています。なお、中学校地区別の人口推計の利用データ及び推計方法は次のとおりです。

●利用データ

○5歳階級別人口

平成25年1月25日現在の西尾市住民基本台帳記録

○平成30（2017）年以降の推計に用いる仮定値

（生存率・純移動率・子ども女性比・0～4歳の出生性比の推計値）

国立社会保障・人口問題研究所の（『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計）仮定値データ）。ただし、推計年度区分が異なるため、2012→2017には、2010→2015の仮定値を準用。また、2037年以降は推計がないため、2030→2035の仮定値から変化が無いものと仮定しました。

用語解説

- ・生存率：生命表による5年後の男女・年齢（5歳階級）別生存率
※生命表⇒ある人口集団の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標（生命関数）によって表したものである。（厚生労働省大臣官房統計情報部より）
- ・純移動率：基準年次とその5年前からの社会動態による純移動率
- ・子ども女性比：（子どもの人数）／（15～49歳の女性人口）
- ・出生性比：出生児の男女比（女兒100に対する男児の比率）

●推計方法

○平成30（2017）年以降の推計方法⇒コーホート要因法を使用。ただし出生率のみ、コーホート変化率法の子ども女性比を用いた。

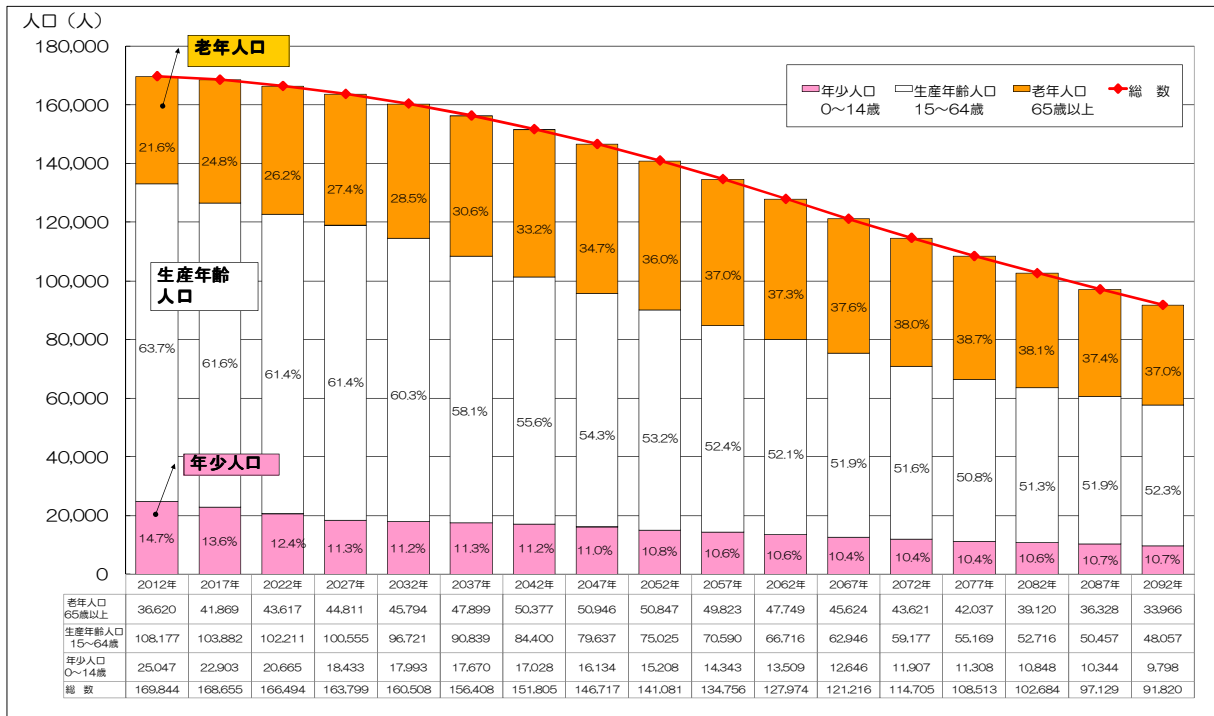
○0～4歳人口＝（5年前の15～49歳女性人口）×（子ども女性比）

○男児出生数＝（0～4歳人口）×（0～4歳の出生性比）／（（0～4歳出生性比）＋100）

○女児出生数＝（0～4歳人口）×100／（（0～4歳の出生性比）＋100）

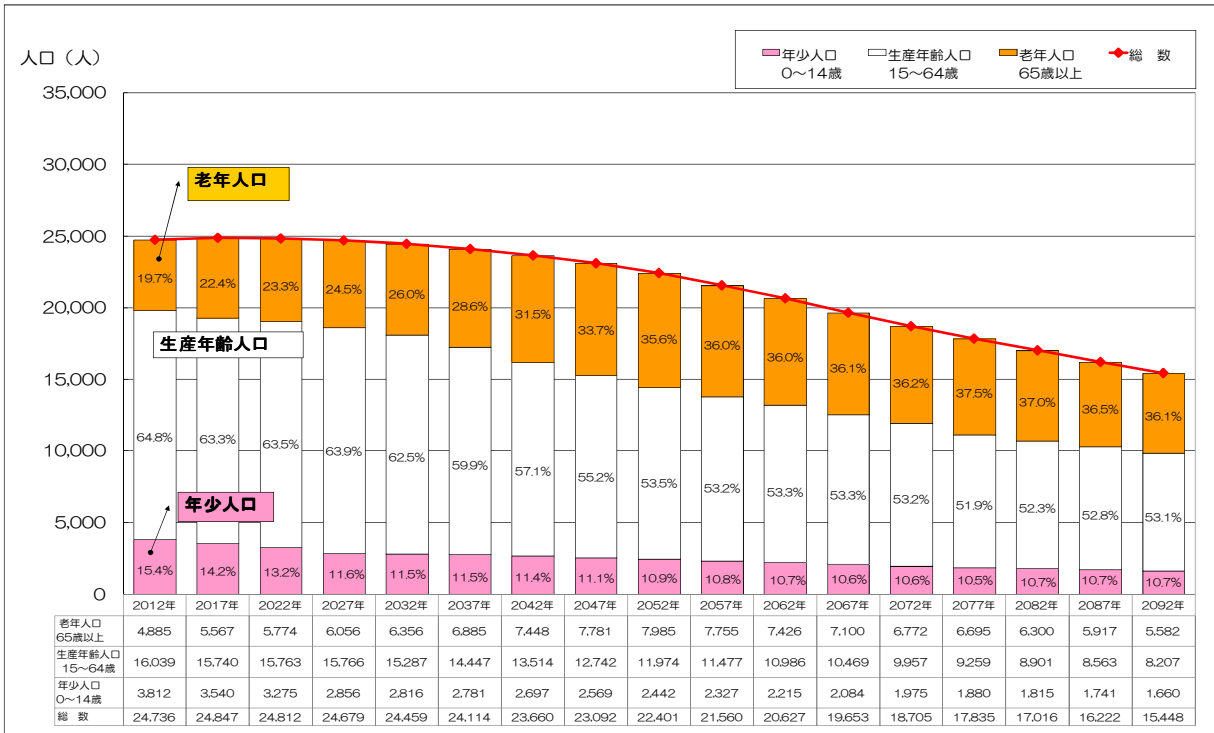
○階層別人口＝（5年前の5歳階級別人口）×（生存率）＋（5年前の5歳階級別人口）×（純移動率）

▼西尾市全体の3階層別将来人口推計



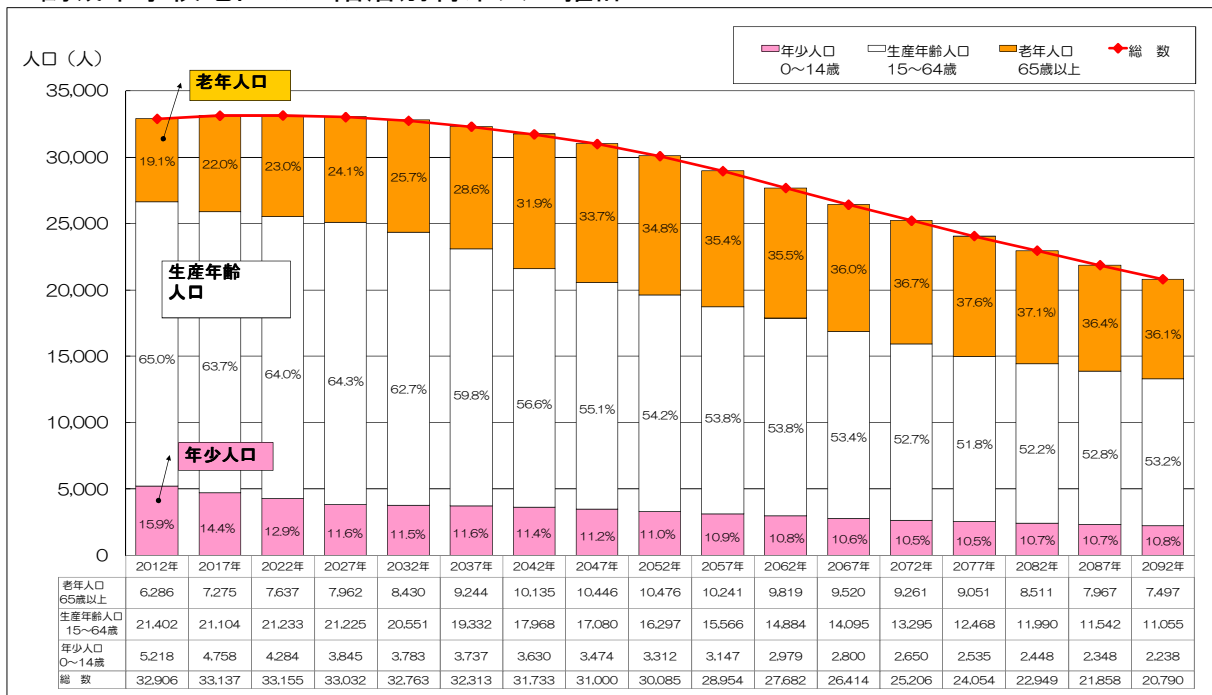
西尾市全体では5年後からの人口減少局面が予想されており、80年後の2092年には現在の人口の54%程度の人口となる。3階層別に見た場合は2077年まで少子高齢化が継続的に進展し、それ以降は老年人口の割合が減少して、生産年齢人口の割合が増加に転じることが予想される。

▼西尾中学校地区の3階層別将来人口推計



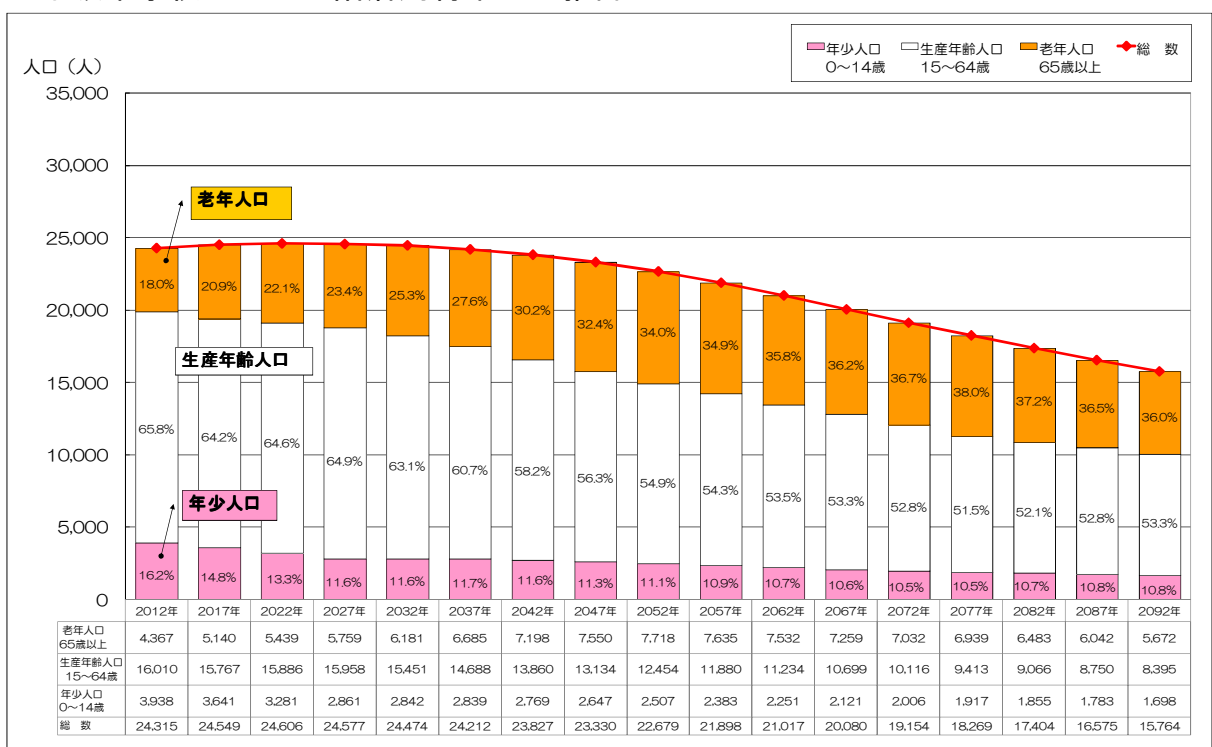
西尾中学校地区では、しばらく微増～横ばい傾向が続き、2032年以降に減少傾向が顕著となる。2092年には現在の人口の59%程度となるが、市全体の減少傾向に比べると緩やかである。

▼鶴城中学校地区の3階層別将来人口推計



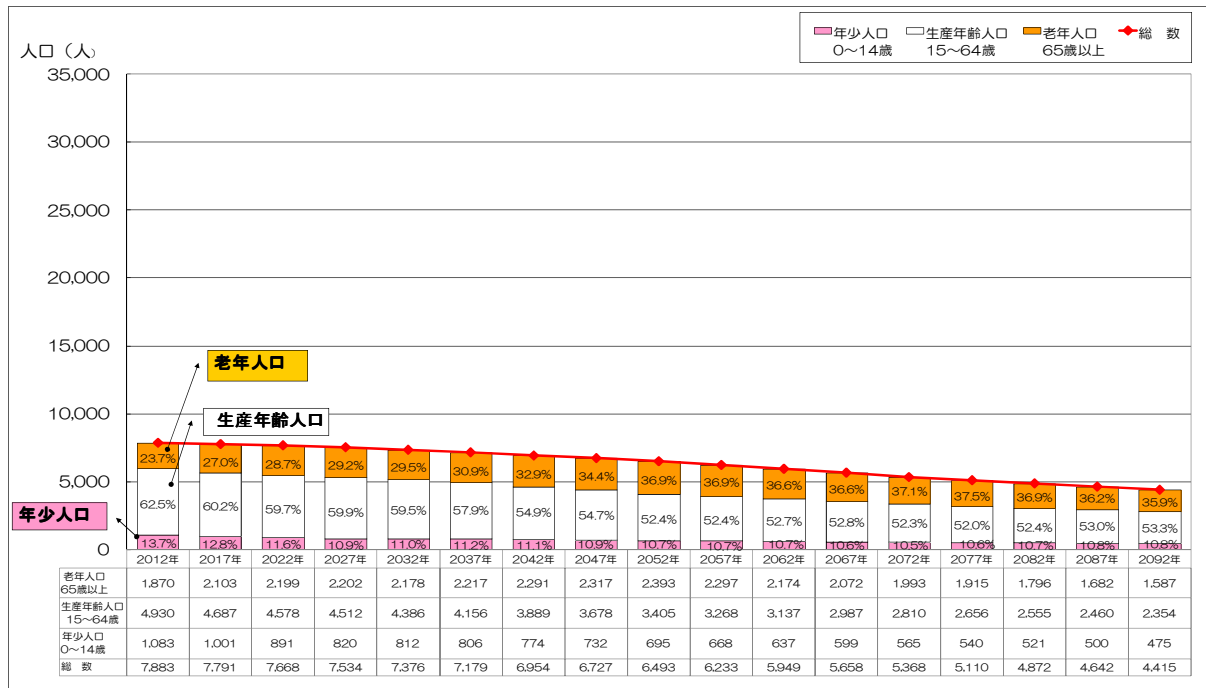
鶴城中学校地区では、しばらく微増～横ばい傾向が続き、2037年以降に減少傾向が顕著となる。2092年には現在の人口の63%程度となるが、市全体の減少傾向に比べると緩やかである。

▼平坂中学校地区の3階層別将来人口推計



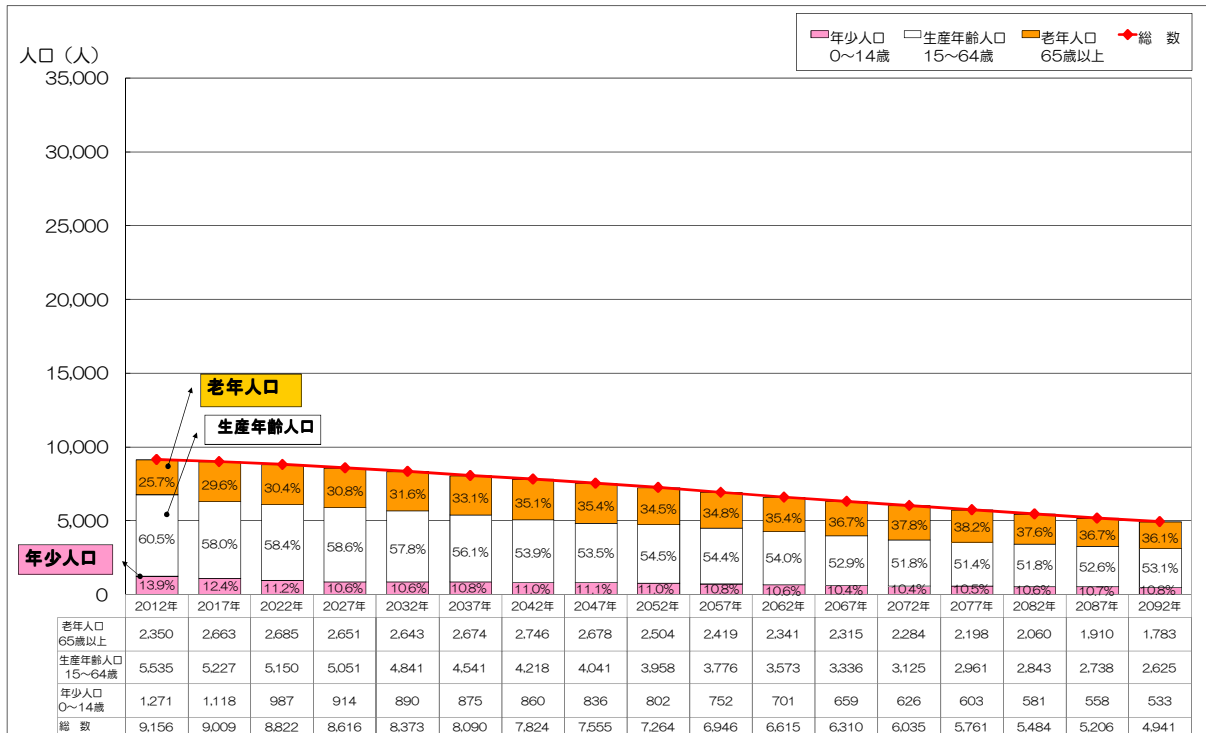
平坂中学校区では、しばらく微増～横ばい傾向が続き、2037年以降に減少傾向が顕著となる。2092年には現在の人口の65%程度となるが、市全体の減少傾向に比べると緩やかである。

▼寺津中学校地区の3階層別将来人口推計



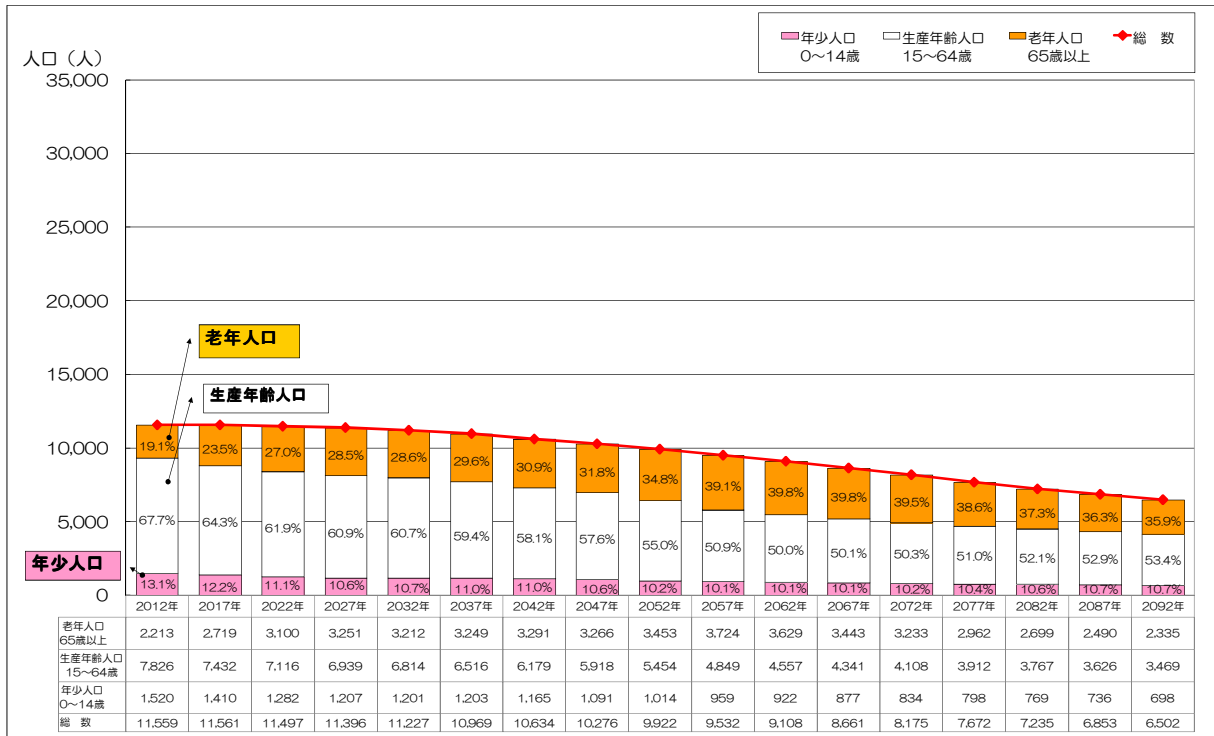
寺津中学校地区では、5年後からの人口減少局面が予想されており、市全体と同様の減少傾向である。2092年には現在の人口の56%程度となるが、これも市全体と同程度の水準であるといえる。

▼福地中学校地区の3階層別将来人口推計



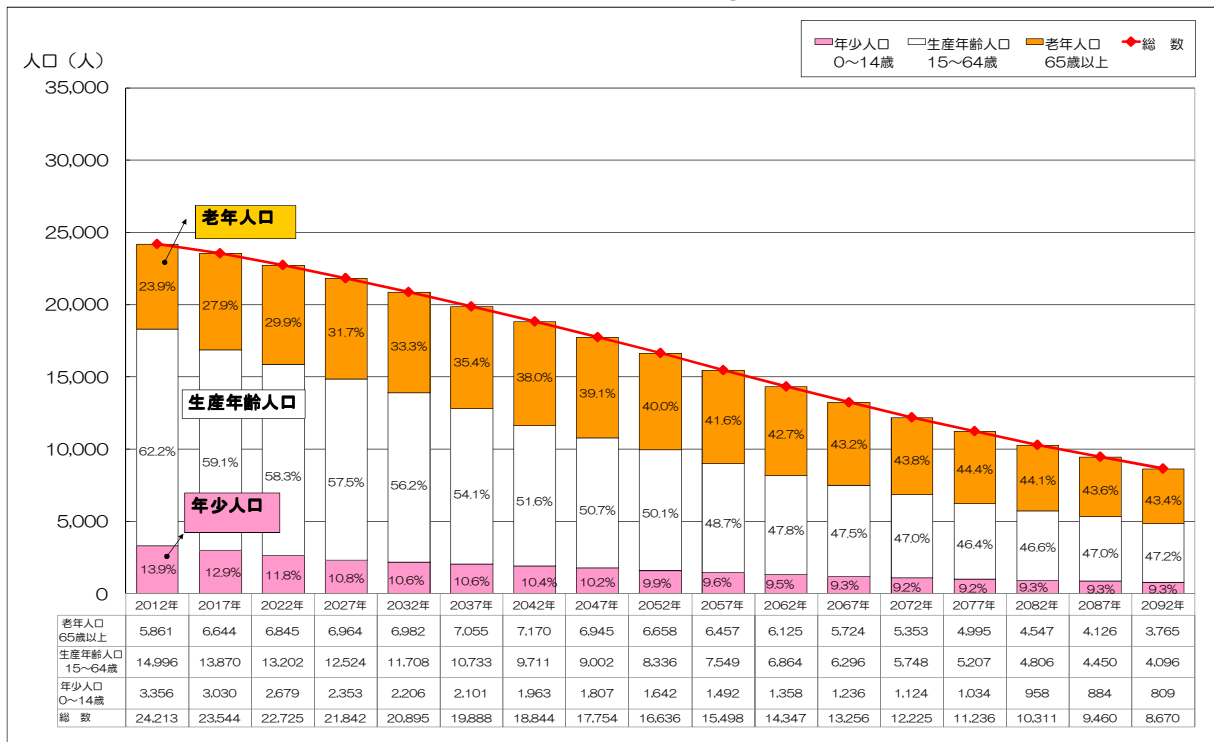
福地中学校地区では、5年後からの人口減少局面が予想されており、市全体と同様の減少傾向である。2092年には現在の人口の54%程度となるが、これも市全体と同程度の水準であるといえる。

▼東部中学校地区の3階層別将来人口推計



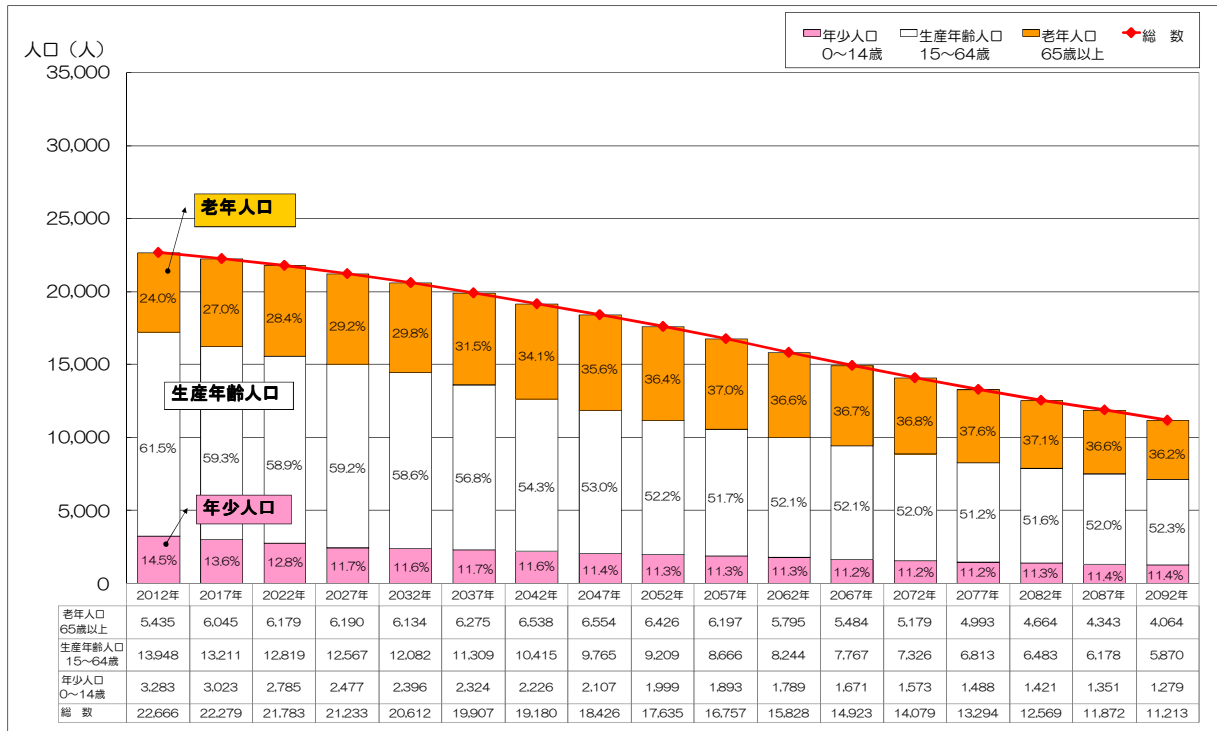
東部中学校地区ではしばらく微増～横ばい傾向が続き、2037年以降に減少傾向が顕著となる。2092年には現在の人口の56%程度となるが、これは市全体と同程度の水準である。

▼一色中学校地区の3階層別将来人口推計(佐久島中学校地区含む)



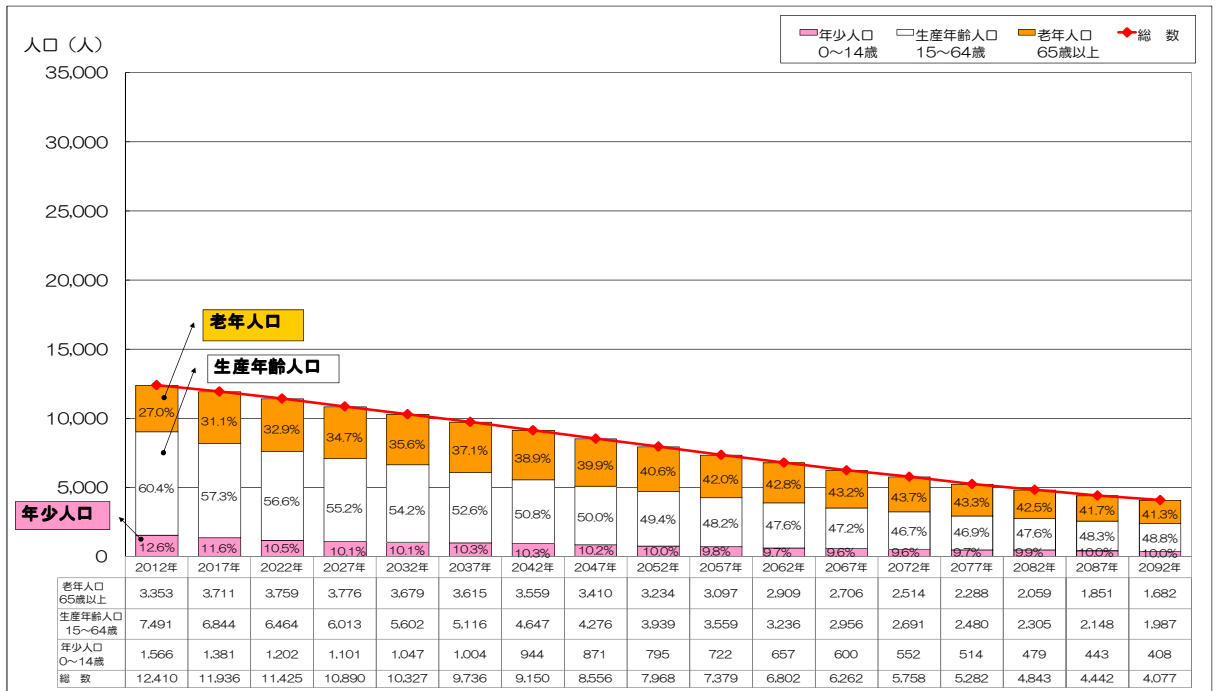
一色中学校地区(佐久島中学校地区含む)では、5年後からの人口減少局面が予想されており、市全体と比較して加速度的に少子高齢化が進展する。2092年には現在の人口の36%程度となるが、これも市全体と比較して人口減少が著しい傾向である。

▼吉良中学校地区の3階層別将来人口推計



吉良中学校地区では、5年後からの人口減少局面が予想されており、市全体と同様の減少傾向である。2092年には現在の人口の49%程度となるが、これも市全体と同程度の水準であるといえる。

▼幡豆中学校地区の3階層別将来人口推計



幡豆中学校地区では、5年後からの人口減少局面が予想されており、市全体と比較して加速度的に少子高齢化が進展する。2092年には現在の人口の33%程度となるが、これも市全体と比較して人口減少が著しい傾向である。